



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

**【国内初】自動運転車の走行データを活用した走行ルートリスク評価ツールを開発
～安全・安心な走行環境の設計を支援し、自動運転車の普及に貢献～**

2023年3月3日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、国立大学法人群馬大学（以下、群馬大学）とのこれまでの共同研究成果を基に、国立大学法人滋賀大学（以下、滋賀大学）^{*1}と自動運転車の走行ルートリスク評価ツールを開発しました。3月以降に行われる自動運転の実証実験等から提供を開始し、実用化に向けて取り組みを進めていきます。

自動運転車の走行データを活用した走行ルートリスク評価ツールは国内初^{*2}となります。

※1 当社と滋賀大学が設置した日本セーフティソサイエティ研究センター（データ分析等を行う研究機関）において実施

※2 現在、特許出願中（2023年3月時点）

1. 背景

自動運転技術は、交通事故の削減や高齢者等の移動支援、ドライバー不足といった様々な社会課題の解決策として期待されています。政府は、限定エリアにおける無人自動運転移動サービスの実装を2025年までに全国40カ所以上に拡大する目標を掲げており、2023年4月からは、改正道路交通法の施行により自動運転レベル4の公道走行が可能となる予定です。今後、各地で無人自動運転移動サービスの導入検討の本格化が見込まれますが、導入に際しては自動運転車の性能を踏まえた安全対策が必要となります。

当社は、2017年より群馬大学と自動運転の社会実装に向けた共同研究を開始し、2020年からは群馬大学および群馬大学発スタートアップである日本モビリティ株式会社（以下、日本モビリティ）と共同で、無人自動運転移動サービスの導入を計画から実装まで一気通貫で支援する「無人移動サービス導入パッケージ」を展開しています。全国各地で実証実験を積み重ねる中、自動運転車の走行リスクが車両の性能のみならず、走行ルートや走行環境の影響を強く受けることを究明し、リスク軽減に向けた研究を続けてきました。

今般、当社では、こうした共同研究で得た知見や群馬大学および日本モビリティが全国の実証実験を通じて蓄積した膨大な自動運転車の走行データを基に滋賀大学と数理モデルを組み立て、自動運転車の走行環境から走行ルートのリスクを評価するツールを開発しました。

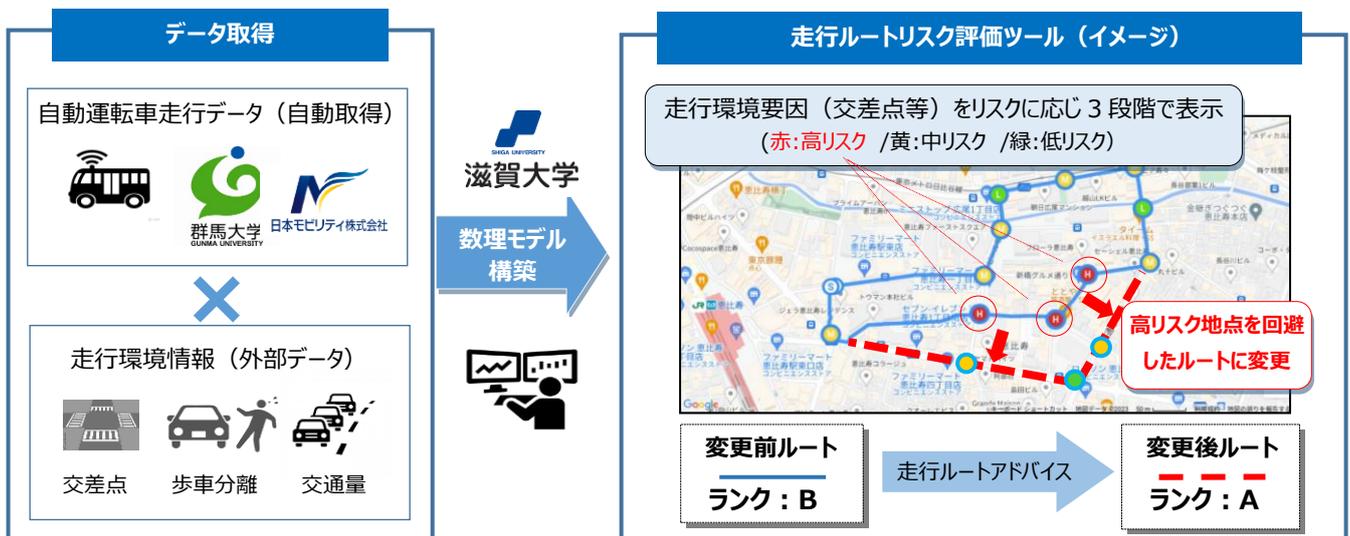
2. 自動運転車向け「走行ルートのリスク評価ツール」について

特許出願中

(1) ツールの概要

本ツールは、自動運転車固有のリスク傾向を踏まえ、リスクと相関の高い走行環境要因（交差点やその通行方法、歩車分離の状況、交通量等）の分析に基づき、走行ルートのリスク評価を行います。

走行ルート上の走行環境リスクを可視化し、ルート全体のリスク評価を行うとともに、候補となる走行ルート間の比較や事故の未然防止に向けたアドバイス、導入時の計画策定に有効な情報を提供します。



(2) ツールのリスク評価精度の向上

走行ルート of リスク評価に使用する数理モデルは、全国各地で走行する自動運転車から収集した走行データの解析を通じて組み立てています。当社は、群馬大学・日本モビリティとの共同研究を通じ、1 走行ごとに走行データを自動的にクラウド上にアップロードする仕組みや解析する環境を構築しています。

今後もこれらの高度化を図り、自動運転技術の進化や実装レベルの進展に伴うリスク変化を迅速・適切にツールに反映させていくとともに、当社が世界各国で展開するテレマティクス事業を通じて蓄積した累計 951 億 km (地球 238 万周分) ※3 の走行データも活用しながら、一層の精度向上に取り組んでいきます。

※3 2022 年 12 月末時点

3. 無人自動運転移動サービスの実装に向けた導入コンサルティングサービスの提供

当社は、日本モビリティと共同で「無人移動サービス導入パッケージ」を展開しています。本ツールも有効に活用しながら、自動運転車の特性や地域における既存の交通インフラ等を踏まえた最適な導入に向け、計画段階から実装段階まで一気通貫で支援していきます。

4. 今後の展開

当社は、本ツールを「無人移動サービス導入パッケージ」の一つとして展開し、自動運転の導入検討を進める自治体や交通事業者等の走行ルート選定をリスク対策面から支援しながら、安全・安心な無人移動サービスの普及に取り組んでいきます。

また、世界各地で培ったテレマティクス自動車保険のノウハウや高度なデータ解析技術を駆使しながら、自動運転車の特徴を踏まえた保険商品・サービスの開発に取り組み、社会・地域の課題解決ならびに安全・安心なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX を通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組みます。

